

平成 28 年 11 月 25 日

各位

三菱製紙株式会社

高耐熱性リチウムイオン電池用セパレータを開発 (OZ-GX シリーズ)

三菱製紙株式会社は、画期的な高耐熱性*を実現したリチウムイオン電池用、不織布・無機粒子複合セパレータ NanoBaseX 「OZ-GX シリーズ」を開発いたしました。

近年、リチウムイオン電池の用途は、従来の携帯機器から車載・産業用等の動力機器に拡大し電池のサイズも大型化しておりますが、それに伴い要求される安全性の確保が喫緊の課題となっております。

今回開発した NanoBaseX 「OZ-GX シリーズ」は、2 年前に発表した当社の耐熱セパレータ「OZ-S シリーズ」の 270℃を大きく上回る 470℃の耐熱性を達成したものです。

詳細につきまして、以下の通りご案内申し上げます。

記

商品名： リチウムイオン電池用セパレータ NanoBaseX 「OZ-GX シリーズ」

詳細： リチウムイオン電池の用途は、従来の携帯機器から車載・産業用等の動力機器に拡大しています。これに伴い、電池のサイズも大型化しており、現在広く使われているフィルム・無機粒子複合セパレータでは、要求される安全性を確保することが難しくなってきました。

当社が提案している不織布・無機粒子複合セパレータ NanoBaseX は、既に国内外の電池メーカー様で評価が進められており、フィルム・無機粒子複合セパレータと比較して高い安全性が得られることが確認されています。

今回開発した NanoBaseX 「OZ-GX シリーズ」は、使用材料を全面的に見直すことにより、現在広く使われているフィルム・無機複合セパレータの耐熱温 (140-200℃)、2 年前に発表した弊社の耐熱セパレータ「OZ-S シリーズ」の 270℃を更に大きく上回る **470℃の耐熱性を達成**いたしました。

(セパレータ耐熱試験映像 <http://www.k-mpm.com/bs/video.php>)

この耐熱温度は、リチウムイオン電池で起こりうるセパレータの耐熱温度問題をほぼ確実にクリアできるものと考えています。

NanoBaseX 「OZ-GX シリーズ」は、今後 2 年以内に、車載用リチウムイオン電池に採用されることを見込んでおります。

*** 熱風をセパレータに吹きつけた時に、60 秒以内に穿孔しない最高温度。**

<本件に関するお問い合わせ先>

機能材事業部 BS 事業室 TEL (03)5600-1471 E-mail libsepa@mpm.co.jp

以上